

2023（令和5）年度 釧路都心部まちづくり計画の推進に向けた取り組みについて

1. 連続立体交差事業調査（国庫補助）の開始について【報告】

令和5年度

国が連続立体交差事業の候補区間の一つとして、連続立体交差事業調査を採択
（釧路の鉄道高架）（調査主体：北海道）^①

下線① 連続立体交差事業調査とは

- 調査内容 → 鉄道敷地内の測量、鉄道施設の概略設計 など
- 調査期間 → 一般的に2ヵ年程度

北海道とJR北海道の間で、正式な協議が進められる

2. 市が発注する主な業務委託について

上記の「連続立体交差事業調査」について、北海道とJR北海道の間で締結された協定に基づく業務内容と整合を図りながら連携して業務を進める。

（1）釧路都心部まちづくり計画推進検討業務委託（履行期間：R5年7月下旬～R6年3月末を予定）

【主な業務内容】

釧路駅周辺の再整備方針の検討 釧路駅周辺の空間デザイン指針の検討
V R映像の作成 市民ワークショップの開催 など

（2）街路の概略設計業務委託（履行期間：R5年7月中旬～R6年3月末を予定）

【主な業務内容】

市役所横通 柳町公園大通の延伸

（3）土地区画整理事業 事業調査 業務委託 など

a. 土地区画整理事業

現況測量調査 業務委託（補助）（履行期間：R5年7月上旬～R6年3月末を予定）

【主な業務内容】 基準点測量 地形測量 用地測量

b. 土地区画整理事業

事業調査 業務委託（補助）（履行期間：R5年7月中旬～R6年3月末を予定）

【主な業務内容】 施行地区の設定 区画整理設計

3. 市民ワークショップの開催について

（1）開催目的 → 別紙「報告事項 1 説明資料 2」を参照

（2）参加者

- 参加者については、市が特にご意見をお聞きしたい属性を市側で選択し、その属性の活動組織などに対して市が直接、参加者の推薦を依頼する。
- 属性ごとにグループを組織し、1グループあたりの人数は4名程度とする。

ワークショップ グループ（案）

	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ…
属 性	学 生	大 人	子を持つ親	商 業 者	…
属性(細分)	大学・高校	民間プレイヤー	子育て世代	小商い業者	…

※参加するグループについては確定ではない。本委員会での議論などを踏まえながら決定する予定。

（3）開催内容

ワークショップの内容		
回	主なテーマ	ね ら い
1	駅前広場での過ごし方は？	「いつ・誰と・何をしたいか？」を議論し、駅前広場に対する「思い」を掘り下げる。
2	駅前広場の空間のあり方は？	第1回の議論を踏まえ、駅前広場のあり方を議論する。また、他のグループの意見を共有する。
3	駅前広場の空間の方向性は？	第2回の議論を踏まえ、駅前広場の空間の方向性を共有する。

（4）開催スケジュール

	7月			8月			9月			10月			11月			12月		
	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30
実施計画 開催準備																		
ワークショップ																		
意見整理 資料作成																		
釧路都心部 まちづくり 推進協議会																		

実施案説明
意見・助言
第1回
第2回
第3回
意見整理
意見整理
第13回

なお、今年度、業務委託において作成を予定しているV R映像は、釧路駅周辺の再整備方針とあわせ、このワークショップで議論される「駅前広場空間の方向性」を反映した内容とし、令和6年2月に開催を予定している「第3回釧路都心部まちづくりフォーラム」において公表する予定である。